

人材派遣業のシニア東海(本社名古屋市中熱田区金山町1の5の2、高江洲晋社長、電話052・678・7750)は、60歳以上の人材に特化し、高齢者に活躍の場を提供している。現在、製造業を中心に中小企業40〜50社に約110人を派遣。平均年齢は65・8歳、最高齢は77歳の男性だ。政府は今後70歳までの就労を推奨する方針。人手不足も深刻化しており、定年退職後の働き方に注目が集まりそうだ。

(飯島萌乃)

## 人材派遣のシニア東海

同社は2011年、定年ではIOT(モノのインターネット)などで工場の自らの不安を解消するため、自動化を進めているが、中小企業などでは職人が操作する汎用工作機械が活躍するから元氣」をモットーに掲げる。

登録者は製造業などで活躍していた人材が多く、主な派遣先は工作機械や設備

機械などの製造業を中心とする中小企業だ。大手企業



高江洲晋社長

同社は、登録者に通勤時間や業種など希望条件の間き取りを行い、今までの経験を生かせる派遣先を探す。本人の希望と派遣先とのミスマッチを防ぐために、派遣先の工場見学を行い、本人の経験が生かせる

現場かどうかを見極める。その上で1カ月間働いてみて最終的な判断を行う。週5日勤務を行っているのは全体の8割。勤務日数や時間はライフスタイルに

給926円だが、同社の登録者の平均は約1100〜1300円。設計などの技術職は割増しとなる。

高齢者のうち8割が65歳以上になっても働きたいという意欲を持っているという。政府は「年齢に関わりなく、意欲ある人が働き続けることができる生涯現役の社会をつくる」と、70歳まで働ける機会の確保を企業の努力義務とする高齢者就労促進策の2021年4月施行を目指している。

# 60歳以上人材に特化 活躍の場を提供 最高齢77歳

高江洲社長は「今の高齢者はとても元氣な方ばかり。中小企業は慢性的な人手不足。政府も高齢者の就労を促進しているので今後需要は高まるだろう」と見込んでいる。

よってさまざままだ。孫の送り迎えや習い事などに応じて派遣先企業と話し合い、早上がりなど柔軟に対応する。愛知県の最低賃金は時

日本の07年に65歳以上が人口の21%を超え、超高齢社会に突入した。65歳以上の割合は25年には約30%になるとみられている。高齢者の活用で人手不足を解消する試みに注目が集まりそうだ。